

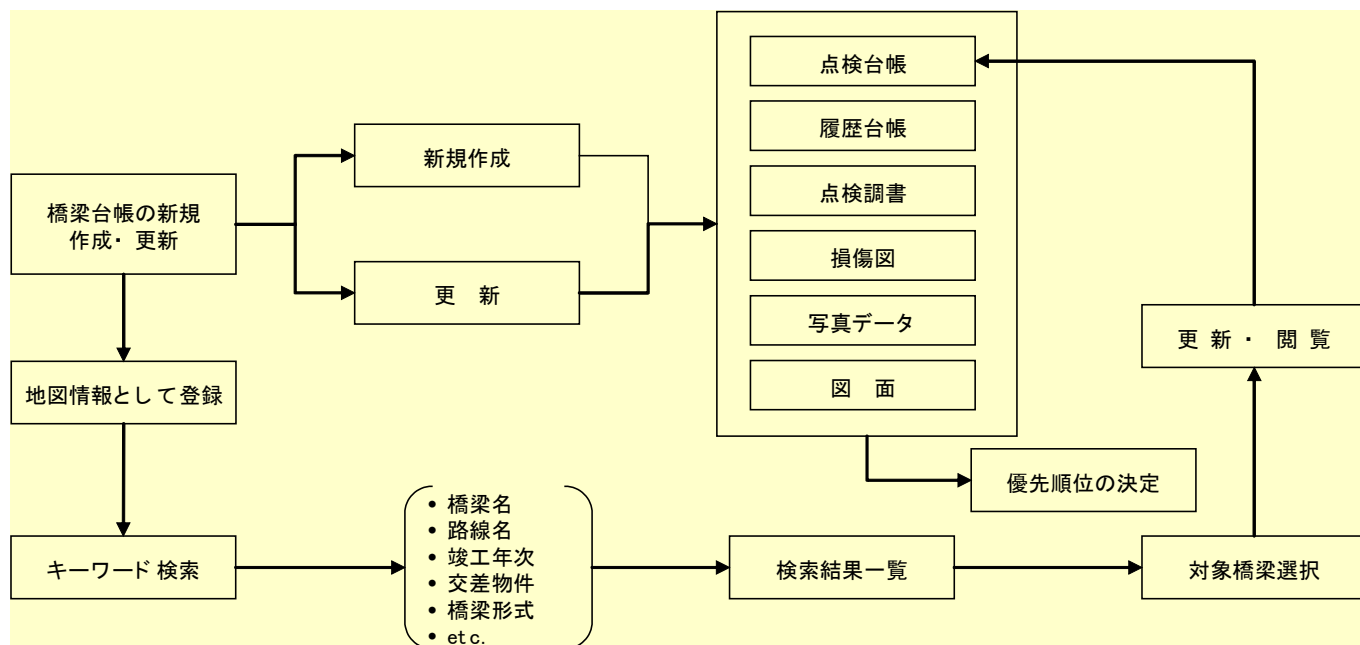
既設橋梁の台帳整備による維持管理システムの構築

目的

限られた財源を有効に活用するためには、正確かつ分かりやすい情報管理が重要となります。本台帳は、既設橋梁に対して、地図情報と橋梁情報（諸元・点検データ・写真データ）を有機的に結びつけ、パソコン上で簡単に既設橋情報が得られるシステムを構築するものです。

内容

本台帳システムの流れは下記フロー図の通りです。

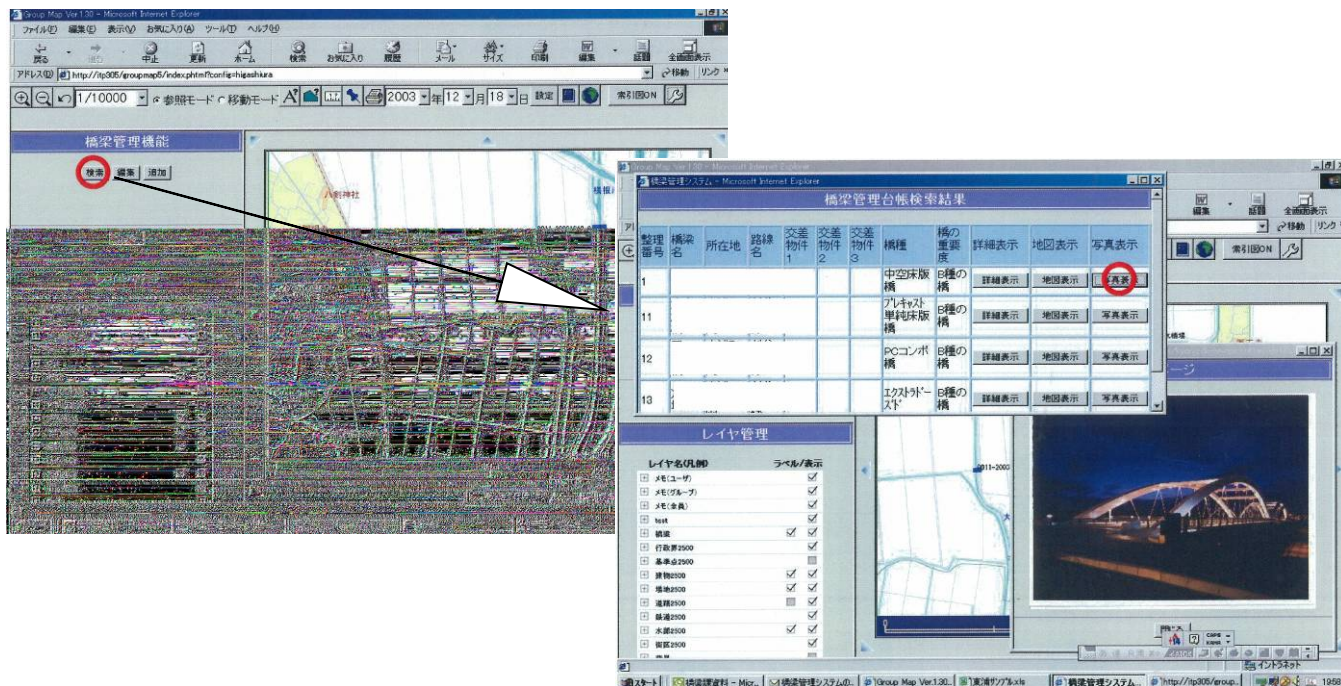


<橋梁台帳を地理情報として登録した後は... >

- ・ マップ上で対象橋梁を検索することが可能です。
- ・ 写真データも登録することができるので、対象橋梁を画像として把握することが可能です。
- ・ キーワード検索により、対象橋梁の位置、写真、諸元を瞬時に確認できます。
- ・ 登録項目は、（橋梁に限らず）必要に応じて増減できます。
- ・ 対象橋梁の点検結果や立地条件、補修・補強履歴、しゅん功年次などを登録することによって、維持管理上の優先順位の目安を得ることも可能です。

つまり……

本システムでは、管理者の要望に応じた付加価値を提供することが可能です。



技術ポイント

(1) 地図情報の活用

- ・ 市販のMapあるいは各自治体が所有する都市計画図など、お好みの地図情報を用いることが可能です（エンジンによって制約を受ける場合もあります）。
- ・ 地図情報と橋梁情報を関連付けた地理情報としてシステムを構築することによって、使いやすさ、分かり易さが向上します。

(2) ソースデータの作成

- ・ システムを提供するだけでなく、各自治体にあったシステムの構成要素を提案します。
- ・ 古い橋梁などは、橋梁台帳等が残っていない場合も少なくありません。このような場合は、また当社にて橋梁点検などを実施し、台帳の充実を計ることも可能です。

(3) 既設橋維持管理計画

- ・ 本システムに格納される情報を参考に、補修・補強工事の優先順位や、維持管理上の重点橋梁などが把握でき、質の高い住民サービスの提供、管理瑕疵の回避に貢献します。

事業の流れ〔当社の実施範囲〕

台帳整備による維持管理システムの構築	内 容
地形図の選択	地形図を本システムに搭載
台帳の整備（必要に応じ）	既存の台帳がない場合、橋梁点検の実施
地理情報の構築	地図情報と橋梁情報との関連付け

玉野総合コンサルタント株式会社

お問い合わせ先： 事業企画部 (TEL. 052-979-3960 / FAX. 052-979-3970)